

第 10 回(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会 会議録

日時	令和 7 年 1 月 21 日（火） 10：00～11：15
場所	古河市役所 総和庁舎 特別会議室
出席委員	小林委員（委員長）、中野委員（副委員長）、渡辺委員、野村委員、蓮見委員、下村委員、関根委員、楠田委員、今井委員、塚田委員、佐藤委員、稲葉委員、宮本委員、岡安委員、小川委員、蘇武委員、柿沼委員、千野委員
欠席委員	初見委員
傍聴者	8 名
事務局	企画政策部 綾部部長 プロジェクト推進課 山中課長補佐、海老原係長、宮澤係長、亀田係長、小木主査、福田主幹
受託者	シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体 株式会社シアターワークショップ（TWS） 小池、山本（Web）、森田（記） 日本工営都市空間株式会社（NKU） 矢野、今吉、佐藤（Web）、若梅（Web）
内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題(1)建設候補地の検討について ・資料 1 建設候補地の検討 4 その他 5 閉会
事務局	【(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会】 本日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、第 10 回（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会を始めさせていただきます。また、本日 8 名の傍聴の希望がありました。委員長と協議の上、傍聴を許可しておりますのでご報告をいたします。では、次第に従いまして進めさせていただきます。委員長挨拶として小林委員長からご挨拶をお願いいたします。
小林委員長	（委員長あいさつ） 朝早くからお集まりいただきありがとうございます。年末は本当に申し訳ありませんでした。体調不良により皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。気持ちを改めて今年も頑張りたいと思いますので、皆様、活発な議論をよろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。では、次第に従いまして議事に入らせていただきます。本日の議事につきましては、建設候補地の検討についてとなります。前回の市民委員会で候補地ごとにプランを作成し、課題や特徴、整備費、スケジュールを検討した資料をご提示させていただきました。本日の市民委員会では、委員の皆様が所属する団体や周辺の意見なども踏まえて、建設候補地を選定いただきたいと思いますと考えております。それでは議事につきましては、規則に基づき、委員長である小林委員長に進行をお願いいたします。

事務局	《議事》 (1) 建設候補地の検討について 資料1に基づき説明した。
小林委員長	ただいま説明がありました建設候補地の検討については、前回の市民委員会にて説明した内容になりますので、各委員からは候補地に対するご意見をお願いいたします。また、事前に欠席の連絡がございました初見委員からは、候補地に関する意見書をお預かりしておりますので、最後に事務局から報告をお願いいたします。では、中野副委員長の方からご意見をお願いいたします。
中野副委員長	前回の資料を基に教育委員会の会議などでも報告いたしました。教育的な面からいくつか申し上げると、まず、現在中学校の部活動の地域移行が国全体の方針で始まり、神戸市では、2026年9月から中学校の部活動を一斉に廃止して、地域に文化部と運動部の受け皿を作ると宣言をし、その準備に入ったというニュースがありました。先週オンライン研修がございまして、文部科学省の方とのやりとりの中でも地域移行が地域展開という形で、地域が子どもたちの部活動を受け入れていく流れになっています。そういったことを考えたときに、ある程度の練習場所や活動場所が地域の中に必要になってきます。市内の中学校は、伝統的な音楽関係の部活動と、数は少ないですが中学校によっては演劇部を所有しております。このような文化面の振興は今後必要だと教育委員会などでも話しております。 夏に白河文化交流館に視察に行って、人が賑わうという部分と、色々な行事を行うにあたって、スライド4ページのゾーニング方針についてで記載されているような安全に配慮した車両動線、ならびに歩行者の動線を確保するや関係者用駐車場及び搬入動線を確保するという部分では、ある程度広い敷地が必要であるという意見が出ました。候補地1と2を比べたときに、一番目がいったのが平面駐車場と立体駐車場の違いであり、それぞれのメリットとデメリットを検証してみました。平面駐車場のメリットは4つあると思われます。1つ目は入出庫に時間がかからないこと、2つ目は維持メンテナンス費用が安いこと、3つ目は車の幅や高さなどの制限が緩やかであること、4つ目は別の用途に活用しやすいことです。市内の学校は、9月に防災の日にあわせて避難訓練などを行います。平面駐車場であれば、防災の拠点としても活用できます。要するに多機能の活用ができます。また、今年の成人式がはなもも体育館で行われ、保護者を含めて約1000人以上が集まりました。私も会場におり、その様子を見ました。このような人が集まれる賑わいの場やそれに伴う動線を考えたときに、平面駐車場をある程度確保することは、防災の面からも、このような色々な教育的な催しを考えたときにも必要であり、ある程度の広さが必要ではないかという意見でまとまっております。
小林委員長	ありがとうございます。では、候補地2を推すということでよいでしょうか。
中野副委員長	はい、そういうことです。
下村委員	どちらの候補地を推すのかこの場で言うのですか。

小林委員長	言っていただけるとよいと思います。
下村委員	この場で言ったら結論が出るのではないですか。
小林委員長	出ると思います。
下村委員	それでよいのですか。
小林委員長	はい、皆様ご検討いただいていると思いますから、今の段階でのお話をしていただきたいということです。
下村委員	評決は挙手になりますか。
小林委員長	挙手になるかはわかりません。様子を見たいと思います。
下村委員	今の段階ということは先の段階もあるのですか。
小林委員長	わかりません。なぜ、わからないかという、今日は少なくとも、市民委員会としてこれまでの議論を経て、建設候補地についてどのような方向性を考えているかという結論を出したいと思いますが、この結論で決定ということではなく、この後、市民の方々に説明をしたり、パブリックコメントを受けたりする中で、場合によってはこの結論を覆すようなご意見が出てくるかもしれないからです。まずは市民委員会として色々な専門的な知見も含めて考えた結論を今日は出したいと思います。このため、今日は皆様が考えてきたことを述べていただく日にしたいと思います。よろしくお願いいたします。では、渡辺委員お願いいたします。
渡辺委員	舞台を使う者として意見します。私としては、どちらの候補地でも問題ありませんが、利便性を考えると、立体駐車場よりは平面駐車場の方がよいというのは当然です。また、候補地１は車両の出入口が１つしかなく、出入口が１つというのはコスモスプラザの出入口と同じです。コスモスプラザは、入るときはよいですが、出るときは容易でなく、だいたい３０分ぐらい待たないとスムーズに出られません。施設機能については問題ありませんが、候補地１の駐車場は帰るのに時間がかかるというのが当然予想され、候補地２の広い駐車場はやはり魅力的です。広い駐車場でできることは色々あり、防災訓練のほかに、子どもたちにとっての科学的な実験場として、例えば１本の棒の影を追うことで太陽の動きを実感することができる。また、天体観測もできると思う。文化的な面だけでなく、科学的な面にも子どもたちの興味を引き立てるメリットがあります。当初は候補地１を考えていましたが、将来世代の役に立つという部分を考慮した場合、やはり候補地２の方が応用がきくと思います。
小林委員長	ありがとうございます。では、野村委員お願いいたします。
野村委員	古河市観光協会の者です。続いてしまい、言いづらいですが、私も基本的には候補地２がよいと思っています。理由としては先ほど中野副委員長と渡辺委員が述べたことと近いところもありますが、やはり候補地２には市の方で大型ショッピングモールの誘致が進んでいます。何もないところでイベントがあるよりも、ある程度ショッピングモールなどの買い物ができるところに文化施設があることは、利用者にとってとてもメリットがあることだと思います。文化施設内のカフェで食事できますが、ショッピングモールなどで買い物をして、そこで食事できるというのは大きなメリットだと思います。そして、先ほど中野副委員長と渡辺委員もおっしゃっていましたが、駐車場が広いので、

小林委員長 蓮見委員	駐車場を活用したキッチンカーを呼んだイベントなども色々できると思いますし、交通の面でも、大型バスなどが中に入ってこられるというメリットもありますので、やはり利便性を考えると候補地 2 の方がよいと思います。 ありがとうございます。では、蓮見委員お願いいたします。 前回の市民委員会で候補地 1 と 2 それぞれ色々な意見が出たので、あと 2 回、3 回と、皆様の意見を聞いた方がよいと言いました。どちらかの候補地に決めるということで、候補地 1 に賛成する人も候補地 2 に賛成する人もいます。私は両方ともよいと思いますが、第 3 の意見を聞くことも必要だと思います。候補地 1 か 2 か、どちらがよいか判断が難しいですが、文化施設のため、駅から近く、歩いて 10 分から 15 分で行ける場所がよいという声をまちなかでよく聞きます。場所は伏せますが、駅から近いところがあります。色々な場でよく話をしていることですが、昔の話を聞くと JR 水戸線は古河駅までくることがほとんど決定していましたが、反対者がいたため古河駅までこなかったとのことです。このような集まりの場でよく言っておりますが、子ども、孫、ひ孫に、古河市に住んでいてよかったと思ってもらえるようになるには、今きちんとした判断をしないとこの先、よい方向に行かないと思います。候補地 1 か 2 かどちらがよいか答えを出しにくいので、皆様の意見を聞いてほしいと思います。
小林委員長 下村委員	ありがとうございます。では、下村委員お願いいたします。 候補地 1 か 2 かどちらがよいかということはどちらの候補地も色々で一長一短あるため本当は言いたくないです。候補地 1 の方は駐車場が懸念されていますが、立体駐車場はやはり使いづらいとは思いますが、ただ、前回の市民委員会で質問させてもらったときに、候補地 1 の近くに移転予定の警察署の駐車場も使える可能性があれば、なにも 4 層の駐車場を整備しなくても問題ないという前提に立っています。候補地 2 は何の問題もないとのことです。立地面で駅から歩いて行ける場所と蓮見委員もおっしゃっていましたが、このような立地面を考え、また、以前古河市商工会の役員の方とも、前回の市民委員会の話をしまして、どちらがよいと言ったら候補地 1 がよいかなとなりました。
小林委員長 関根委員	ありがとうございます。では、関根委員お願いいたします。 古河青年会議所としては、どちらの候補地でも問題ありませんが、私としては、候補地 2 の方がよいと思います。理由としては、今後若い方たちが集まりやすい場所、集まっているいろいろな活動ができる場所がよいと思います。候補地 1 は駐車場や車両の出入口などの環境に左右されますが、候補地 2 は市のメイン道路に隣接していると思いますので、このことに配慮した上で、ショッピングモールなどの商業施設や公園などを誘致する計画が承認されているのであれば、候補地 2 の方が今後のためにはよいと思っています。
小林委員長 楠田委員	ありがとうございます。では、楠田委員お願いいたします。 私は文化施設に裏側や搬入口から入ることが多いので、その視点から考えてみました。候補地 1 と 2、それぞれよいところがあると思いますが、先日候補地 1 周辺を実際に歩いてみたところ、とても民家が近いと感じました。色々なホールで仕事を行っている、民家が近くにある場合、夜遅くまでの作業ができないことが多いです。ホールは 22 時

	まで使用できることが一般的ですが、近くに民家があると色々な作業を続けることができず、21時には終了してくださいとか、駐車場にお客さんがいつまでも残っていると近所の方から騒音の苦情が入るので、お客さんを早く返すために終演時間を早くしないといけないとか、色々な制約がうまれてしまいます。候補地1はやはり近くに民家がたくさんあるので、そこはどうかと思います。運用することの制約が色々うまれてしまうことを考えると、やはり候補地2の方が近くに民家がたくさんあるわけではないので、運用に対する対策が色々とりやすいと考えます。裏方の意見としては、候補地2の方が使いやすいと考えます。
小林委員長 今井委員	ありがとうございます。では、今井委員お願いいたします。 前回の市民委員会で申し上げているため、私の意見はだいたい皆様分かっていると思いますが、私がこの市民委員会に出席しているのは、障がい者関係だと思しますので、障がい者の立場から言うと、一番デメリットがないところに造っていただきたいです。候補地1と2を勘案すると、障がい者にとって一番デメリットがあることは水の問題だけです。候補地2で水が出ない対策をすることで水が出ない確約がとれて、50年など経った将来、仮に水が出て地域住民に問題がない、ここまで考えてサウンディング調査などを行っているならば候補地2の方がよいと思います。水の問題だけ解決できれば、候補地2の方を推したいです。
小林委員長 塚田委員	ありがとうございます。では、塚田委員お願いいたします。 古河市社会福祉協議会の者です。今井委員と同じ感覚であり、古河市社会福祉協議会は、災害ボランティアセンターを立ち上げる役目があります。この部分では、基本的に古河市は水の災害しか考えられないと思っているので、広いスペースがあり、本当に水が出ないことを考えると、候補地2は最大5mの浸水が想定される地域ですが、その浸水リスクがほとんどゼロに近い状態になるのであれば、やはり広いスペースがある候補地2の方がよいと思います。また、立体駐車場は、上に上がっていくうちに右往左往して事故になることもあるので、このことを考えるとやはり広い駐車場の方がよいと思います。候補地2の方を推したいと思います。
小林委員長 千野委員	ありがとうございます。では、千野委員お願いいたします。 候補地2の方を推したいと思います。前回の市民委員会で質問させていただいた中で、候補地1はバスが建物の近くまで寄れず、お年寄りの方も立体駐車場の方から歩道橋を渡らないと会場までたどり着けないと伺いましたので、それでは利便性がとても悪く、候補地2の方がよいと思います。去年から災害ボランティアに何回か行っていますが、被災したときのことを考えると、おそらく候補地1ではボランティアセンターとしては稼働ができないと考えています。浸水対策も、土盛りをすれば5mという高さはどうにかなる高さではないかと思うので、候補地2がふさわしいと思います。
小林委員長 柿沼委員	ありがとうございます。では、柿沼委員お願いいたします。 どちらの候補地も一長一短あると思いますが、デメリットのことだけ考えてみたときに、候補地1の方はお客さんが入場してからドアがオープンするまでの間に待つ場所が非常に狭く、人が入りきらないと思います。お客さんは開演よりも多少早めにきますけ

れども、開場と開演までの時間にいる場所がすごく狭いと聞いて、それはどうかと思いました。駐車場の件もありますが、候補地 1 はロータリーが造成できないぐらい入口が狭く、車で送り迎えしてもらうことができないとも聞いたので、これは不便だと思います。候補地 2 の方は、スライド 24 ページを見ると、事業スケジュールが候補地 1 の最短のスケジュールより 1 年半ぐらい遅れたスタートになってしまっています。当初は少しでも早く完成してほしい希望があり、1 年半ぐらいの差は少し大きく、候補地 1 の方が古河駅から直線距離で場所的にはわかりやすいですが、色々悩んだ末、複合的な施設を将来的に造っていくという点においては、やはり候補地 2 の方がスペースの問題からして将来的に発展していけると考えました。

小林委員長
蘇武委員

ありがとうございます。では、蘇武委員お願いいたします。

結論から先に言いますと、候補地 2 に賛成です。今の段階では、まずは大きい方がよいと思います。他の委員の方もおっしゃっていましたが、使い勝手を考えたり、他の施設ができたりした場合には、文化施設以外のところで活用できるところが近くにあるというのは非常に重要な要素です。飲食以外にもいろいろな活用方法があります。舞台面も 18m×18m あるいは 18m×15m ですがどちらかといえば、18m×18m の方が後々使い勝手はよくなると思います。物を置くスペースも後になって必要になります。

車寄せの話も何度か出ていますが、やはりマイクロバスなどが転回できないような車寄せではどうかと思いました。それから候補地 1 のまわりを見て回りましたが、入口のところで、十間通りの両サイドで商売を行っている建物があり確かにネックだと思いました。歩道橋と聞いたときに、道路にある歩道橋のイメージしか浮かばなかったのですが、階段をどれぐらい上がって、川を渡って文化施設に入るのにどれぐらい歩くのかと思いました。車寄せがあつて、マイクロバスなどにも対応できるのであれば、やはり広い文化施設を考えるべきだと思います。後々になって、もっと広い方がよかったという話は当然のように出てくると思いますから、今の段階では広い方ということで候補地 2 の方を推したいと思います。

小林委員長
小川委員

ありがとうございます。では、小川委員お願いいたします。

古河市行政自治会の者です。候補地 1 にある旧古河体育館をとてとても広いなと思って眺めていましたが、文化施設を計画してみると、あれだけ広い体育館が狭く感じます。文化施設には色々な付帯設備がありますから、このことが影響しているのだと思います。候補地 1 は敷地が狭く、1300 席で計画していた客席が最大でも 1150 席になってしまいます。人気のある古河吹奏楽団の公演では、野木エニスホールで整理券を配っても入りきれないお客さんがくることを考えると、やはり客席数は多くする必要があると思います。そのためには、広いスペースで、緩やかな設計ができる必要があると思います。皆様、駐車場の問題を言っていますが、駐車場もさることながら、建物本体を考えていけないといけないと思います。今の時代 1000 人集めることは簡単で、1000 人以上入れないところには NHK などのマスメディアもきません。建物そのものも考える必要があり、広いスペースで緩やかな設計にしていきたいと思いますので、候補地 2 でお願いします。

小林委員長 岡安委員	ありがとうございます。では、岡安委員お願いいたします。 建物や駐車場の皆様の意見をまとめると、候補地 2 の方です。誰が考えても候補地 2 がよいと感じると思います。候補地 2 に商業施設を造ることは賛成ですが、文化施設とセットで造るということであれば、市に提案している民間事業者が提案していることについて、市から具体的な話をしてもらわないと市民委員会で結論を出して答申することはできないと思います。また、候補地 2 は沼田地区といい、昔から何度も水浸しになっています。その対策をどう考えているのか。そして、古河赤十字病院からトモエ乳業の方に 27m の道路が都市計画決定されていますが、1300 人ほどのお客さんがくるとなると、今でも渋滞が発生しており、渋滞対策をどのように考えているのか。その辺をもう少し具体的に言ってもらいたい。候補地 2 のスライドを見ると、調整池が小さく描かれていますが、先ほど言ったようにこの地区は水の問題がとてもあります。調整池も具体的な大きさは考えていますか。それから、整備費がスライド 21 ページに約 167 億円と記載されていますが、今の物価高を考えると、約 167 億円ではできないと思います。民間事業者が造ったものを市で借りるという考えならば、何年で借りるかわかりませんが、30 年間とすれば、年間 5 億円ほど、月 5000 万円ほどを払うことになります。その他に維持管理費や、運営の委託費を考えると、月に 1 億円近く払うことになります。そうなった場合、市民への貸出料金がどれくらいになるとかそういう話が出ないと、私は、どちらの候補地がよいかという結論は出せません。もしどうしても今日、答申をしたいということであれば、両候補地の併用でお願いします。
小林委員長	質問の部分については市からお答えいただいてもよいと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	候補地の水の問題という話が出ておりますので、それについて話させていただきます。確かに候補地 1、2 ともに利根川が決壊した場合の浸水想定区域に入っております。候補地 2 の沼田地区の方が利根川に近いので、より高い浸水が想定される地区となっています。北関東豪雨のときに沼田地区が浸水したことも承知しております。開発する際には、開発基準に伴う調整池を整備し、エリア内に出る水はエリア内で処理をするということが、開発条件の中で求められますので、しっかりと対応していくことになります。内水氾濫や想定以上の豪雨というものが全国的に増えていますので、それに対する対策についても、市として並行して対応していくことになるかと思います。また、利根川は一級河川ですので、国も堤防の強化をしています。渡良瀬川の堤防の強化も終わって、花火大会も無事そこでできるような状況になりました。引き続き、国は国としてこのエリアの防災対策、特に水害対策については、並行して行っていていただいておりますので、役割を分担した上で、対策を行っていきたいと考えております。 また、27m の道路については、県で都市計画決定されていますので、ここに大型商業施設を含めた文化施設ができるとなれば、人や車がより一層市内外から集まる環境になるかと思います。開発に伴いましては、周辺の交通渋滞に影響を与えてはいけないということが開発の前提条件になり、県道でもあることから、県と協議をしながら、開発にあわせられるかどうかは別として、市としてもこの道路を造っていく方針で行っていき

	いと考えております。 そして、財政負担の話ですが、市民委員会では従来工法の場合、約 167 億円と算出させていただきました。市民委員会で、民間活力を積極的に活用していくという方針を皆様にお決めいただいておりますので、従来工法よりも整備費を削減できるよう、民間活力を導入する方向で検討していきたいと考えております。PPP/PFI の具体的な方法は、候補地を最終的に決定した上で、この後民間事業者へのサウンディング調査を深く行い、市にとって財政負担の少ない方向で整理をしていけるように協議をしていきたいと考えております。
小林委員長	ありがとうございます。建設後の運営費はどちらの候補地であってもかかります。支払いの方法で多少の違いは出てくるかもしれませんが、毎年の運営費に関しては、ほとんど変わらないのではないかと思います。では、宮本委員お願いいたします。
宮本委員	古河市国際交流協会の者です。皆様ご存じのように市には外国人の方が 6000 人ほど在住しています。外国人の方はスマートフォンを上手に使うので目的地に行くことができるので、場所的には私はどちらの候補地でも大丈夫と思います。先日候補地 1 の周辺を歩きました。スライド 5 ページに記載されているスターバックスから歩いてくると距離があり、雨が降ったときのことや送り迎えを考えると、やはり駐車場は近いところにあった方がよく、利便性を考えても駐車場が多くとれるところがよいと思いました。候補地 1 は色々な商業施設が建ってそのエリアが繋がることもよいと思いますが、利便性と多機能的に使える場所の方がよいと思い、今のところ候補地 2 と考えています。
小林委員長 稲葉委員	ありがとうございます。では、稲葉委員お願いいたします。 私はどちらの候補地がよいかというと、候補地 1の方がよいと思います。古河駅から歩いてこられること、そして、現在市で持っている土地を有効に使えば、形式的に安易に整備できるのではないかと思います。候補地 2 に隣接する道路は、時々通りますが今でも渋滞がひどく、そこに公共施設ができた場合、ますます渋滞がひどくなると思います。このような単独な意見ですが、私は候補地 1の方がよいという考えです。よろしくお願いいたします。
小林委員長 佐藤委員	ありがとうございます。では、佐藤委員お願いいたします。 私の意見としては候補地 1 を推薦します。理由といたしましては、やはり候補地 2 は市の土地ではないということと、災害があったときに浸水してしまう土地であること、それと 2 つの民間事業者から提案をもらっているとのことだが、そのリース料がいくらかかり、何年借りて、費用がどれくらいかかるのかという情報がまったくないまま、候補地 2 に決めるのは少し不安です。候補地 1 は市の土地でありますので、建物を建て、最終的に壊すということであれば、市の財産として土地は残ります。候補地 1 は車両の出入口が狭いと言いますが、出入口両脇の店舗を買収したり、親水公園の方にもう少し広げたり、駐車場の件に関しては色々な工夫ができると思います。また、候補地 1 では 1150 席しかできないと言いますが、市民アンケートの結果では 1000 席程度欲しいという方は全体の 25% で 4 分の 1 います。1300 席程度欲しいという方は 7.9% しかいません。こういった意味でも、1150 席でも市民の方々には納得してもらえるのではない

小林委員長	かと感じています。候補地 2 は土地をかさ上げたとしても、やはりその周りの開発にいくらかかるということがなかなか出ていないので、こういった面も含めて情報不足と感ずるため、候補地 1 を推薦します。 ありがとうございます。ひと通り皆様からご意見を聞いたということで、建設候補地については様々なご意見がありますが、基本構想・基本計画の策定においては建設候補地を 1 つに選定しなければなりません。皆様のご意見を伺うと、数としては候補地 2 を推す方が多いです。候補地 1 を推すと明確に言ってくださった方、どちらの候補地を推すか決めかねる方もいらっしゃると思いますが、最終的に多数決をとることによろしいですか。今日は少なくとも一番多かったのはこれであるという形にはしたいと思います。
事務局	初見委員の意見をまだ述べていません。
小林委員長	では、初見委員の意見を事務局からお願いいたします。
事務局	事前に欠席の連絡がありました初見委員から意見をいただきました。初見委員の意見としては候補地 2 ということでした。選定理由としては、「県西の代表都市としてシンボリックな施設は必要と考える。古河市工業会としてもイベントや発表は地元で開催を行いたい。(仮称)古河市新公会堂の規模や機能を考えて候補地を選定した。」という意見でした。
小林委員長	初見委員の意見を入れても、今のところ候補地 2 を推す方が多いですが、多数決で手を挙げるといってよろしいですか。候補地 1 を推す方、どちらの候補地を推すか決めかねる方は多数決の結果を何名という形で議事録に記載することによろしいですか。
下村委員	どちらでもよいです。
佐藤委員	はっきりしたいと思います。
小林委員長	では、手を挙げる形で多数決をとります。どちらの候補地を推すか決めかねる方は白票という形になり、欠席の初見委員の意見は候補地 2 の数に含めます。事務局は計測をお願いいたします。 では、建設候補地にふさわしいと思う方に挙手をお願いいたします。 (多数決実施) 多数決の結果により、候補地 1 が 3 名、候補地 2 が 13 名、白票が 2 名で議事録に記載したいと思います。 (仮称)古河市新公会堂の建設候補地は、候補地 2 が選定されましたので、本日の議事を終了いたします。各委員におかれましては、議事にご協力いただき、大変ありがとうございました。 それでは事務局に議事をお返しいたします。
	(その他) 事務局から連絡があります。第 11 回市民委員会は、3 月 26 日(水)15 時から総和庁舎特別会議室で実施します。本日はありがとうございました。

	以上
--	----